

8月の倒産

54%増760件

物価高、コロナ融資返済

東京商工リサーチが8日発表した8月の全国企業倒産（負債額1千万円以上）は、前年同月比54・4%増の760件だった。前年同月を上回るのは7カ月連続。原材料高によるコスト増や、新型コロナウイルス対策の実質無利子・無担保融資（ゼロゼロ融資）の返済本格化が影響した。

負債総額は2・7%減の1083億円で、2カ月ぶりに減少した。

原材料の高騰分を価格転嫁できず事業継続が困難になった「物価高倒産」は2・3倍の58件を占めた。新型コロナウイルス関連倒産は24・2%増の241件だった。

産業別では、飲食業を含む「サービス業他」が238件と全体の31・3%を占めた。資材費の高騰が重荷となっている建設業が157件、円安による輸入原材料の価格上昇が利益を圧迫している製造業が89件と続いた。地区別の件数は、北海道から九州までの9地区全てで前年同月を上回った。